

# 福まち かわら版

福祉のまち推進事業は、「住み慣れた地域で安心して、ずっと暮らしたい」というみんなの願いをみんなで支える事業です。

近年の社会環境、世帯状況の変化に伴い、地域における人間関係の希薄化が進み、コロナ禍においてさらに社会的孤立が大きな問題となっています。今まで以上に身近な地域での、見守りや支え合い活動が必要になってきています。

そのため、各連合町内会単位に設置されている地区福祉のまち推進センター（以下「地区福まち」）では、住民同士の支え合い活動を広げていくために、さまざまな取り組みを行っています。

自宅に閉じこもり気味だったり、ご近所の方とお付き合いがなかったり、最近では地域でいつのまにか孤立している……という人も少なくありません。「ふれあい・いきいきサロン」とは、住民による住民のための「居場所」「交流の場」として、顔なじみの輪を広げ、そこに住む人々がつながりを持てるような地域を目指す活動です。

今回は「おしゃべりサロン in 宮の森（宮の森大倉山地区）」と「桑園地区子育てサロンすくすく（桑園地区）」の2つの地区のサロンをご紹介します。

## 宮の森大倉山地区 宮の森中央町内会 おしゃべりサロンin宮の森

宮の森会館で開催されている「おしゃべりサロン in 宮の森」は令和元年12月に立ち上がり、町内会で企画・運営を行っています。月1回の頻度で10時から12時までの間で開催されています。おしゃべりやゲーム、体操などを中心に夏休みと冬休み期間中の年2回は宮の森児童会館の利用中の児童と交流を行っています。また、運動機会を増やすため、昨年カーリンコンを取り入れています。

取材時は冬休み期間中とのことで、児童とカーリンコンの対戦を実施していました。接戦が続き、おしゃべりサロンのメンバーとの試合後も児童は練習を行っていました。白熱した試合の後には、お茶とお菓子をお土産として受け取って帰宅されました。参加された方からは、「気軽に参加しやすい活動やおしゃべりが中心。近所なので歩いて参加でき、毎月楽しんでいます。」とお話されていました。



▲第1投目、緊張の瞬間。



▲得点集計中の様子。接戦です。

中央区社会福祉協議会では地域のサロン活動を応援します。ふれあい・いきいきサロンに関するご質問や相談、登録・助成制度、保険加入の手続きについては、中央区社会福祉協議会（連絡先は巻末）までお問い合わせください。